令和 5 年度名古屋大学文学部 学校推薦型選抜

試 験 問 題

第 2 次選抜·小論文

11月25日(金)10:00~12:00

問題冊子 2 枚 (表紙を除く)

答案紙 3枚

下書き用紙 2 枚

注意事項

- 1. 試験開始の指示があるまで、この問題冊子と答案紙を開いてはいけない。
- 2. 落丁・乱丁・印刷不鮮明の箇所などがあったら、ただちに申し出ること。
- 3. 答案紙それぞれの所定欄に受験番号を記入すること。
- 4. 解答は、答案紙の所定の欄に横書きで記入すること。所定の欄以外または裏面に書いた 答案は、無効となる。
- 5. 答案紙にある得点記入用のボックスには何も記入しないこと。
- 6. 問題冊子の余白は、草稿用に使用しても差し支えない。
- 7. 試験終了時刻まで退室してはいけない。
- 8. 問題冊子及び下書き用紙は、持ち帰ってよい。

(著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送信について著作権者の許諾を得ていないため、これを削除し、以下のとおり、出典名等を記載することとします。)

(Crystal, David (1997) *The Cambridge Encyclopedia of Language*, Second Edition, p.14, Cambridge University Press. 出題にあたり一部改変。)

- 1. 下線部(1),(2)を日本語に訳しなさい。
- 2. 言語を介する思考と介さない思考について、それぞれの具体例を挙げながら、 本文に即して 200 字以内の日本語で説明しなさい。
- 3. 本文では言語と思考の密接な関係が述べられているが、我々の生活において言語は他にも重要な役割を果たしている。本文の内容を踏まえつつ、社会における言語の役割について、あなたの考えを600字以内の日本語で述べなさい。